

令和 6 年度防衛大学校卒業式来賓代表
(株) 日本経済新聞社代表取締役会長 岡田 直敏様
祝 辞

皆さん、ご卒業おめでとうございます。

こうして鋭気に満ちた皆さんのお姿を拝見していますと、背筋の伸びる思いがします。

心技体。ここまで鍛え上げるまでの教育、訓練はさぞ厳しいものだったろうと拝察しています。幹部自衛官としての第一歩を踏み出される素晴らしい日を迎えられたこと、まずもって心からのお祝いを申し上げます。同時に教職員の皆様、ご家族の方々、これまでのご献身に深く敬意を表します。

私は日本経済新聞社の会長を務めております。防衛大学校では毎日日経の電子版に目を通す学生も多いと伺い、大変うれしく思っております。それでも、なぜ、日経新聞の会長が防大に来ているのか、不思議に感じる方もおられるかもしれません。

その疑問を解くためにまず、日経の社是を紹介させてください。「中正公平、わが国民生活の基礎たる経済の平和的民主的発展を期す」というものです。戦後間もない 1947 年に作られたわずか 30 文字の文ですけども、これを 3 年前に政府の国家安全保障戦略が定義した日本の国益と読み比べてみますと、驚くほど似通っています。

日経の社是と政府の定義する国益に共通するのは、国民の平和と安全、そして自由、民主主義は経済発展と一体であるという価値観であります。安全なくして、経済なし。経済なくして安全や民主主義は維持できません。これは国際政治学者の故・高坂正堯（こうさかまさたか）さんが「国家は力、利益、価値の体系である」と言及したことと通じています。

私たちが繁栄を維持していくために、これらの 3 つの要素のどれも欠くわけにはいきません。北極星のように時代を超えた不動の目標であると考えています。

しかし、戦後 80 年を迎えたいま、日本はかつてない試練に直面しています。平和と安全を保ってきた我が国を取り巻く世界の環境が特にこの数年激しく変化し、私たちが大事にしてきたものを揺るがす恐れが出てきたと私は危惧しています。

私は 49 年前に日本経済新聞社に入り、記者として経済や世界の動きを追いかけてまいりました。特派員としてパリに駐在していた 1989 年秋には、ベルリンの壁が崩れ、ソ連東欧の共産主義体制が音を立てて崩れて

いくのを目の当たりにしました。統制に苦しんでいた市民がやっと自由を手にし、人や物が一斉に動き出した。世界の市場は大きく広がり、経済的な繁栄がいつまでも続くかのような錯覚さえ覚えました。

そこから36年。ロシアは国連の常任理事国でありながらウクライナへ侵攻、かつてのソ連と似た専制的な国家に戻っています。移民問題も重なり、世界のあちこちで国境の壁が再び高くなってきました。アジアでも専制的な国家による周辺の国々への威圧が強まっています。自由で開かれ法の支配を軸とした世界秩序は、逆回転を始めた、という思いが私の中を駆け巡っています。

私たちが生きているのは不本意ながら、不安定な不安に満ちた時代です。日本の平和と安全をどう守るのか。法の支配はどうすれば維持できるのか。日本経済新聞では安全保障や防衛に関する取材を強化し、さまざまな連載などを通じてこの問題に焦点をあてています。私自身も自衛隊の実情を知るべく、ここ数年機会をいただいて全国の基地や部隊を訪ねてまいりました。日米共同演習が行われていた昨年10月には熊本や佐世保、大村で訓練を見学し、幹部の方々と意見交換をさせていただきました。

そこでまず感じたのは、皆さんの使命に対する誠実さでありました。隊員の士気の高さは私のような外部の者にも伝わります。日本の安全保障環境は年々厳しさを増しています。隊員1人1人からにじみ出る真剣さは決して「訓練のための訓練」ではないことが実感できました。

2022年に閣議決定された国家安保戦略は防衛予算を増額し、装備品の改善などを盛り込みました。安全保障についての国民の理解も次第に高くなってきています。しかし、皆さんの双肩にかかる期待、役割に比べて十分かどうか、自衛隊幹部との意見交換の場では隊員の人材確保がいかに難しくなっているか、さまざまな実情を伺いました。安全保障だけでなく経済の変化も加速しています。サイバーや宇宙、AIなど新しい人材も求められるようになってきた。ノーベル物理学賞を受賞したジェフリー・ヒントン名誉教授が「AIは恐らく5年から20年の間に人間の知能を上回る」と予想しています。防衛や安全保障の常識をも一変させる可能性を秘めています。

「愛なき力は暴力である、力なき愛は無力である。力愛不二。力と愛は一体であるべきである。」これは私が学生時代勤しんだ少林寺拳法の創始者、宗道臣師の言葉です。自衛隊が強くなければ国は守れません。しかし自衛隊が強いだけでも国は守れない。ともに国益を追求し、ともに日本を発展させて参りましょう。皆さんの仕事は実に誇り高いものです。今日素晴らしい門出に立ち会えたことに最大限の感謝と敬意を表して、私の挨拶

とさせていただきます。

ありがとうございました。